

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2025 年度第 7 回（9 月）理事会議事録

- ◇日 時： 2025 年 9 月 11 日（木）19 時 00 分～20 時 30 分
- ◇会 場： Web 会議併用（公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所）
- ◇出席者： （事務所参加）増田、梶、上田、安保、山田、上地、佐藤、山西、岡本、赤木、
豊田、是永、藪、喜舎場、堀田、小宮山、平川、安江、井戸田監事、杉山監事、
竹浦参与、高田参与
（Web 参加）茂永監事
- ◇議 長： 増田

本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互いにできることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告（8 月分）

日	行動内容	役員名
2	看護の日 ハートフル大阪 21	梶、上田、喜舎場、赤木
4	手話講習会	赤木
4	日技連 青年部	(Web) 上田、佐藤、山田、竹浦
5	学術部会	安保、佐藤、平川、堀田、(Web) 小宮山
7	精度管理部会	安江、(Web) 山西、是永
7	日臨技ラダー研修会	(Web) 竹浦
9	日臨技執行理事会	竹浦
14	理事会	梶、安保、上田、山田、上地、山西、岡本、喜舎場、赤木、 藪、是永、堀田、平川、安江、井戸田、杉山、竹浦、高田 (Web) 増田、佐藤、豊田、小宮山
15	組織部会	(メール会議) 岡本、藪、是永、小宮山
16	第 64 回夏季献血推進活動	上田、喜舎場、赤木、平川
18	手話講習会	赤木
18	日技連勉強会	(Web) 梶、上田、山田、岡本、竹浦、高田
19	渉外部会	喜舎場、赤木、安江
19	日臨技組織運営委員会	(Web) 竹浦

20	総務庶務・広報編集・会計部会	梶、上田、上地、山田、豊田、赤木、堀田、是永、平川、 安江 (Web) 薮
22	中央地区定例会	薮
26	第8回大臨技医学検査学会実 行委員会準備会	上田、佐藤、堀田、平川 (Web) 増田、梶、上地、豊田、是永、小宮山
26	堺市精度管理委員会	山田、喜舎場
27	常務理事会	梶、山田、上地、上田、佐藤、(Web) 増田
28	豊中市保健所	山西、安江
31	タスク・シフト/シェアに関す る厚生労働大臣指定講習会	是永、薮、小宮山

Ⅱ．経過報告

1．事務局

〈総務庶務部〉（報告者：上地常務理事）8月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）2026年新年互礼会について検討した。
- （2）各部門委嘱状変更について検討した。
- （3）記念式典について検討した。

〈広報編集部〉（報告者：山田常務理事）8月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）大臨技ニュース8月号 Web 版を発行した。
- （2）大臨技ニュース9月号（第440号）の編集作業を行った。
- （3）ホームページの更新を随時行った。
- （4）2025年度大臨技会報の編集を行った。

2．財務局

〈会計部〉（報告者：上田副会長）8月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）区分間違いでの参加申し込みに対する対策を検討した。
- （2）会計ソフト導入に関連した会計顧問契約先変更について検討した。
- （3）8月事務員給与を支払った。

3．事業局

〈渉外部〉（報告者：安保副会長）8月19日（火）Web 会議併用にて開催した。

- （1）がんフォーラムの進捗状況を確認した。
- （2）全国検査と健康展の企画内容を検討した。
- （3）第20回府民健康フォーラムの進捗状況を確認した。
- （4）看護の日の報告を行なった。
- （5）夏季献血推進活動の報告を行なった。

(6) 理事会報告を行なった。

〈組織部〉(報告者：安保副会長) メール会議

- (1) 大臨技認知症対応力向上研修会について確認した。
- (2) 地臨技でのタスク・シフト／シェア講習会開催要件について共有した。
- (3) 9月6日、9月7日開催の検体採取講習会について、実務委員の確認を行った。
- (4) 第19回大臨技教育セミナー参加者数を報告した。
- (5) 理事会報告を行った。

〈学部部〉(報告者：佐藤常務理事) 8月5日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 第8回大臨技学会について検討した。
- (2) 事業計画の進捗について検討した。
- (3) 謝金システムについて説明した。
- (4) 理事会報告を行った

〈精度管理部〉(報告者：山西理事) 8月7日(木) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 10月開催予定の講演会について討議した。

Ⅲ. 報告事項

1. 職務執行状況報告について(会長・副会長・常務理事)

- (1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、安保副会長、山田常務理事、上地常務理事、佐藤常務理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
- (2) 2025年8月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2025年8月事業開催状況報告について(梶副会長)

- (1) 上記について資料が示され確認した。

3. 7月までの予算執行状況について(上田副会長)

- (1) 組織部で5万円以上の未執行額執行額が3件あるので確認する。
- (2) 学部部の一般検査部門が10万円以上の未執行額と微生物部門の予算を超えた支出について確認する。

4. 会計処理における計上内容の変更について(豊田理事)

- (1) 会議や研修会での委員への謝金については税金が発生するが当日のみのお手伝いの方に対する支払いには税金が発生しない。
- (2) 会議費・雑給と区別するために今年度は税金が発生しない謝金は雑費で計上する。
- (3) 新しく会計システム使用開始時には妥当な勘定科目を設定する。

5. 登録学生制度について(上田副会長)

- (1) teketで登録学生枠を間違えて購入される場合がありその対応処理が面倒であるので対策を検討してほしいと学部部から依頼があった。
- (2) 登録学生制度は次年度以降廃止する方向で検討しているので teket の文言を修正することで対応することにする。

6. 10月5日(日) 開催予定のタスク・シフト/シェア講習会について(小宮山理事)

- (1) 定員各 60 名の 2 事業同時開催予定としていたが申し込みが少ないので 1 事業 60 名の開催とすることになった。
- (2) 12 月 21 日、2 月 8 日も 120 名で開催予定であったが 60 名に変更し大臨技ニュースで報告する。
- (3) 12 月以降の募集はオープン参加とする。
- 7. 令和 7 年度近畿支部医学検査学会（第 64 回）座長候補者について（梶副会長）
 - (1) 微生物部門は橘匡廣氏、生理部門は山崎功次氏、遺伝子・染色体部門は山本章史氏、管理・教育部門は佐々木伸也氏を推薦したと報告された。
- 8. 令和 7（2025）年度日本臨床検査薬卸連合会 連絡網について（梶副会長）
 - (1) 有事の際の連絡網が示された。
- 9. 令和 7 年度結核研究奨励賞候補者推薦について（梶副会長）
 - (1) 推薦者をお願いした。締め切りは 12 月 5 日である。
- 10. 「認知症月間（世界アルツハイマー月間）」（9 月）における普及・啓発イベントへのご協力について（梶副会長）
 - (1) 厚生労働省から上記について協力願いのチラシが示された。
 - (2) 大臨技 HP ではオレンジ色で対応している。
- 11. 大阪府の立入調査について（梶副会長）
 - (1) 定款に議事録の記名押印について理事・監事と記載されているので参与の押印は必要ないと指摘があった。
 - (2) 会計では注記の記載について指摘があった。詳細は書面で送付するとのことであった。
- 12. その他
 - (1) 事務所ノートパソコンについて（梶副会長）
 - ・事務所のノートパソコンが Windows11 にアップデートできないので購入を検討する。
 - (2) 事務所の椅子について（梶副会長）
 - ・事務所の椅子の背もたれが 1 台壊れたが同様に他の椅子も耐用年数がきていると想像されるので見積もりをとることにする。

IV. 議 題

- 1. 2026 年新年互礼会について（上地常務理事）
 - (1) 新年互礼会開催前に精度管理報告会を行うので開催時間を 12 : 30～14 : 30 に変更する。
 - (2) 会費を大臨技会員は 5,000 円、賛助会員は 8,000 円とすることが承認された。
 - (3) 賛助会員で大臨技個人会員である場合は大臨技会員扱いとする。
- 2. 各部門委嘱状変更（源泉による報酬）について（上地常務理事）
 - (1) 委員委嘱状の報酬記載について「金 515 円/回（源泉税含む）」と記載することが承

認された。

3. 法人設立 40 周年 技師会創立 75 周年記念式典・記念祝賀会について（梶副会長）

- （1）他の学会と重複しない日を考慮して 2026 年 10 月 24 日（土）に開催することが承認された。
- （2）アートホテル大阪ベイタワーを仮押さえしている。
- （3）公 2 事業の要件に当てはめると公益事業として承認される。
- （4）費用は 500 万円ほどを予定している。

4. 赤井真一郎公認会計士事務所との契約について（上田副会長）

- （1）TKC 会計システムを導入するにあたり赤井真一郎公認会計士事務所との契約が必要になり承認された。年間報酬は 528,000 円で現在のいざなみ税理士事務所は 550,000 円であるので若干安くなる。
- （2）いざなみ税理士事務所との契約は本来 2026 年 6 月末までであったが 3 月末で契約解除していただけるとのことで赤井真一郎会計士事務所とは 2026 年 4 月から契約となる。

5. 全国「検査と健康展」の学生ボランティア募集について（喜舎場理事）

- （1）2025 年 11 月 15 日の開催を予定しているが土曜日でもありお手伝いいただける方があまり集まらなないと予想されるので教育セミナーに参加された学校にボランティアを募集したいとの申し出があった。
- （2）予算が乏しいので報酬は無く、お弁当の支給を考えている。交通費については支給されるのか質問があったが渉外部会で再検討すると回答された。
- （3）学生に対しての補償される保険加入についてはどうかと質問があり検討すると回答された。
- （4）依頼内容を修正後、募集することが承認された。

6. 地区オープンセミナーの講師依頼について（藪理事）

- （1）非会員である枚方弘済病院勤務の臨床検査技師に講師を依頼しており大臨技への加入を打診したが応じていただけていない。
- （2）大臨技へ加入してもらるか大臨技会員である講師を再検討してもらうことにする。

7. 第 8 回大臨技医学検査学会について（佐藤常務理事）

- （1）実行委員 16 名にお願いすることが承認された。副実行委員長と学術責任者を兼任するのは負担が大きいと考えられるので役割を再検討する。
- （2）テーマは「ミャクミャクと受け継がれる臨床検査の未来へ」、サブタイトルは「～伸ばそう！技師力～」と決定した。“ミャクミャク”については商標登録なので使用上の問題がないか確認し実行委員会で再検討する。
- （3）ポスターについてはテーマ部分のデザインと会長の所属を修正する。
- （4）参加費は 3,000 円で昼食代は協賛でお願いする。予算総額は 3,850,000 円であり 2025 年度計画時に設定されたものと近い金額なので承認された。
- （5）コンベンションを利用することが承認された。第 7 回で依頼した日本旅行の決済を

ベースに名鉄観光サービス株式会社に見積りを取ったところ 30 万程安価（日本旅行 税込 1,265,275 円、名鉄観光 税込 956,000 円）であったので名鉄観光サービス株式会社に依頼することとなった。

（６）非会員参加費は会員参加費の倍と考えているが実行委員会で検討する。

（７）非会員抄録掲載料については日臨技に確認したところ、臨床検査技師以外からは徴収しないこととなった。一方、臨床検査技師で非会員の場合は入会を促し、入会されない場合は徴収することとなった。

8. 物品借用申請について（梶副会長）

（１）阪南中央病院まつりで非侵襲性ヘモグロビン測定器 2 台の借用が承認された。

（２）外部事業であるので開催行事のパンフレットを添付してもらうようにする。